

経友会

ニュース

第21号

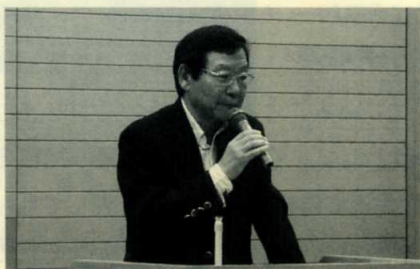
ご質問・お問合せ・メールのご登録は
大阪市立大学 経友会
 (大阪市立大学 経済学部同窓会)
 keiyukai07@sakai.zaq.ne.jp

2011(平成23)年9月22日発行

役員改選で若返りを図る

第15回総会開催

経友会総会は本年も有恒会総会の日に合わせて6月18日開催しました。この総会では2年ごとに行われる役員改選が行われました。これに先立つ5月の常任幹事会で2期4年会長を務められた高田 雄司会長から役員改選の若返りを図るため、自身も会長職を辞任したいとの意向表明と次期会長に山幡 一雄副会長を推す提案がなされました。常任幹事会ではこれを受けて会長交替を含む役員改選案を取りまとめたこの総会に提案し、原案のとおり承認されました。



山幡 一雄 新会長 (S38年卒)



高田 雄司 前会長 (社院H9年修了)

6月の総会において第4代経友会会長を引き受けることとなりました。平成9年に会の発足以来、数々の記念講座やシンポジウムを成功させOBによる経友会講座も今年で7回目を迎えます。大学の支援に貢献できますのも皆様のご協力の賜物と深く感謝しています。

今、大学は熾烈な大学間競争にあり平成18年に行政独立法人となった本学は国立大学のコピーとならないとの建学の精神に立ち返り、手厚い同窓会OBが結集して強い大学になるよう呼びかけて参ります。

そのことが現役の学生さんに物心両面での支援となり、また、卒業されても同窓生として後輩にエールを送る良き循環となるものと確信しています。

大学、学生及び父兄、同窓生が三位一体となって良き大学コミュニティを作り上げてゆくことが大学間競争に勝ち抜く王道かと存じます。

大学当局におかれても三位一体の循環システムの構築を身体の血液循環システムと同じ感覚で捉えてサポートして戴きますようよろしくお願いします。

そのため私は本学として「ひとつの同窓会」づくりを目指したいと存じますので各位のご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。

平成19年度の総会において木村前会長の後を継いで2期4年間会長を務めさせていただきました。私は経友会がこれまで展開してきた学部支援事業の良いものは進展させ、また時機に即して必要な事業を考えていくことを基本として会の運営に当たってきました。

特に感慨深いことは21年度に迎えました経済学部創立60周年記念事業として現下のグローバルな産業経済問題とわが国のあり方を討議するシンポジウムを成功裡に開催できたことです。会員諸氏から多大の募金をいただき、竹中名誉教授をはじめ、本学経済学部卒業の著名な経済人や学部の方のご参画を得て大きな成果を挙げることができました。また記念事業の一環として検討いただいた「キャリア形成ゼミ」も開設され学部支援事業として定着しました。

こうした成果はひとえに多くの方々のご協力のお蔭と感謝する次第です。この機会に改めて会員はじめ役員の皆様、また学部先生方に対し在任中寄せられました力強いご支援につきまして心からお礼申し上げます。終わりに本学のさらなる発展のために今後とも皆様とともに経友会の活動を通じていささかなりとも貢献したいと思っておりますことを申し添え退任のご挨拶といたします。

新役員一覧 (任期 平成23年度～24年度)

敬称略

職名	氏名	卒業年	前職
会長	山幡 一雄	S38	副会長
副会長	福島 由堯	S42	再任
副会長	渡邊 尚年	S42	監事
副会長	有田 正文	S50	常任幹事
顧問	建部 好治	S28	再任
顧問	久我 一郎	S28	再任
顧問	木村 進	S30	再任
顧問	龍口 篤夫	S30	再任

職名	氏名	卒業年	前職
顧問	今川 明	S32	再任
顧問	久保 勇	S32	再任
顧問	木村 甲辰	S33	再任
顧問	菅原 正博	S34	再任
顧問	高田 雄司	H9社院	会長
顧問	南部 昌弘	S37	副会長
監事	溝川 茂久	S44	常任幹事
事務局長	出原 康雄	S42	再任

(注) 常任幹事につきましては、辞任の意向がありました人以外は再任とし、欠員の生じている年次の委員補充については会長に一任する扱いとしました。

平成23年度 キャリア形成ゼミを終えて

経済学部や大学院研究科卒業生を講師とする「キャリア形成ゼミ」は2年目を迎えて経済学部の斬新で実践的なゼミとして定着し、講師・先生方の真摯な努力のお蔭で学内に新しい風を吹き込んでいます。本号では今年度の講師として学生たちを指導された各氏の感想を寄せていただきました。

松澤ゼミ 担当教員 松澤俊雄 教授

○演習の主題：「銀行は地域企業といかに向き合うべきか。」



講師 青野 栄一 氏

(平成4年 経済学部卒)

池田泉州銀行 先進テクノ推進部次長

融資業務や預金業務といった資金仲介機能や為替業務等の決済機能など銀行の基本的な役割を説明するとともに、企業が抱える経営課題に対してビジネスマッチングや産学官のネットワークを活用した技術課題への対応など、銀行が多様な機能提供により企業のサポートを行っていることについても説明しました。

ゼミ生への研究課題として、企業の経営課題の抽出とその解決方法を具体的な事例も交えて自分たちで考え発表してもらいました。その中で、調査した事例をどう解釈し、どう筋道を立てプレゼンテーションするかということについても解説させていただきました。

ゼミ生が熱心に課題に取り組んでくれたおかげで、事例発表を通じ一つの課題に対しても様々な解決策があることや、視点を変えれば違った解決策が見えてくることを全員で体感できたことが非常に良かったと思います。今後も学生の方々には多面的なアプローチ・思考力に磨きをかけていって欲しいと思います。

○演習の主題：「大都市ターミナルを中核とした新しい事業展開」



講師 長畠 譲 氏

(昭和57年 経済学部卒)

南海電鉄(株) 難波・SC営業本部
PM事業部 部長

今春、梅田、阿倍野、難波で大型商業施設が相次いで新規あるいはリニューアルオープンしました。そこで、ゼミ開講にあたり、学生の皆さんには『大都市ターミナルを中核とした新しい事業展開』をテーマに、梅田、阿倍野、難波の各エリアについて、日頃の「利用者の立場」を超えて、「街の魅力やにぎわいを創造する立場」でもって、利用者ニーズや社会環境の変化、競合環境、エリアの現状等を分析し、誰かのアイデアの引用ではなく、自分らしいアイデアの導出、提案を求めました。また、自らの考えを関係メンバーへ伝達することの重要性理解のため「プレゼンテーションスキル向上」を強調しました。

皆さんから各エリアの評価、新たなアイデアを知ることができ、私にとっても、とても有意義な機会となりました。そして、実際のところ、私は「プレゼンテーションの出来ばえ」ではなく、「中身そのもの」に注目していて、その期待に学生の皆さんが十分応えてくれたことを付言したいと思います。

